

2010年3月期 第2四半期 決算説明

株式会社 リロ・ホールディング

2010年3月期第2四半期 連結業績

(百万円未満切捨)

	09/4-9 実績	08/4-9 実績	前年比	09/4-9 計画	計画比
営業収益	46,633	43,864	+6.3%	47,000	▲0.8%
営業利益	1,904	1,873	+1.6%	1,900	+0.2%
経常利益	1,969	1,884	+4.5%	1,950	+1.0%
当期純利益	1,152	1,053	+9.5%	1,100	+4.8%
EPS	78.73円	69.71円	+12.9%	72.57円	+8.5%

- ◆ 低迷する経済環境下、引き続きストック性の高い事業特性が寄与し、第2四半期連結累計期間の経常利益として過去最高を更新

(百万円未満切捨)

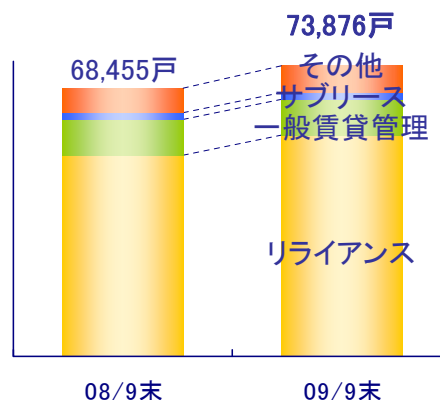
	営業収益			営業利益		
	09/4-9	08/4-9	増減	09/4-9	08/4-9	増減
リロケーション	40,321	37,592	+2,728	1,160	1,061	+98
福利厚生代行	4,233	4,092	+140	869	973	▲104
リゾート	1,184	1,478	▲294	130	176	▲46
その他	894	700	+193	204	147	+56
連結消去	—	—	—	▲460	▲486	+26
連結	46,633	43,864	+2,768	1,904	1,873	+30

- ◆リロケーション事業セグメントは第2四半期としての最高益を更新
- ◆セグメントごとに強弱がありながらも、連結では増収増益を達成

セグメント別 業績概要

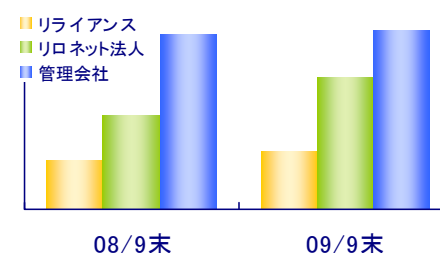
<管理戸数>

	09/9末	08/9末	増減
リライアンス	56,382	51,216	+5,166
一般賃貸管理	8,813	9,031	▲218
サブリース	1,878	1,839	+39
その他(管理人派遣等)	6,803	6,369	+434
合計	73,876	68,455	+5,421



<顧客・取引先企業>

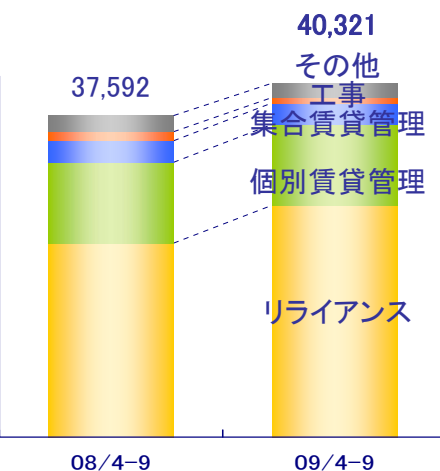
	09/9末	08/9末	増減
リライアンス社数	170	145	+25
リロネット			
法人	386	357	+29
管理会社	522	523	▲1



<分野別営業収益 内訳>

(百万円未満切捨)

	09/4-9	08/4-9	増減
営業収益	40,321	37,592	+2,728
リライアンス	29,919	26,708	+3,211
個別賃貸管理	6,955	6,857	+98
集合賃貸管理	1,861	1,810	+51
工事	455	827	▲372
その他(消去含む)	1,132	1,390	▲258
営業利益	1,160	1,061	+98



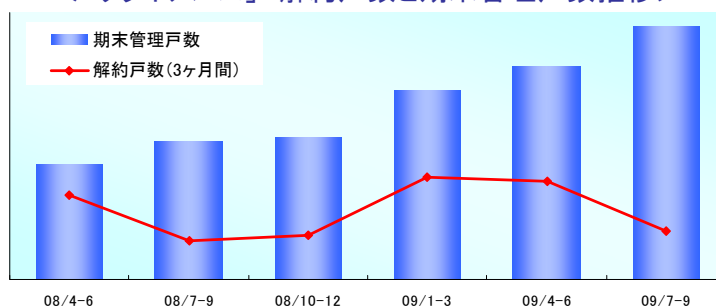
— 総括 —

- ◆ 新規顧客に加え、企業グループの中核会社である既存顧客から傘下、系列企業へと深掘・波及営業も奏功し、引き続き「リライアンス」の管理戸数が増加
- ◆ 前期後半からの製造派遣顧客による解約は底を打ち、緩やかながらも増加に転じる
- ◆ 法人への積極的なアプローチが「個別賃貸管理」の受託(仕入)に増加寄与
- ◆ 寮や社宅に対する管理人派遣サービスが、企業のコスト削減のニーズに合致し堅調に推移。下期も大手案件の獲得を見込む
- ◆ 仲介・工事などは、グループ内のリソースに集中

— 今後の施策 —

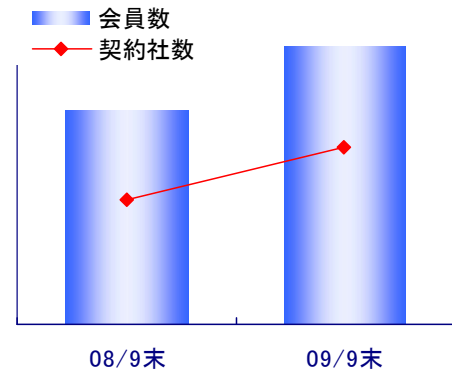
- ◆ 「リライアンス」においては、中長期的な業務効率化のニーズに、フルアウトソーシングである強みを訴求、リプレイス案件の獲得に繋げる。また、繁忙期の刈取に向けて案件を積上げると共に、転賃借契約への移行を前倒し早期の収益化を図る
- ◆ 製造業の雇用において復調の兆しが見えており、期間従業員向けの「リライアンス」をベースとする新サービスを開発。新しい需要への対応を図る
- ◆ 「個別賃貸管理」において、物件仕入のために強化した法人営業を活かし、借上需要も掘り起こし管理戸数の増加に繋げる

<「リライアンス」解約戸数と期末管理戸数推移>



<関連指標>

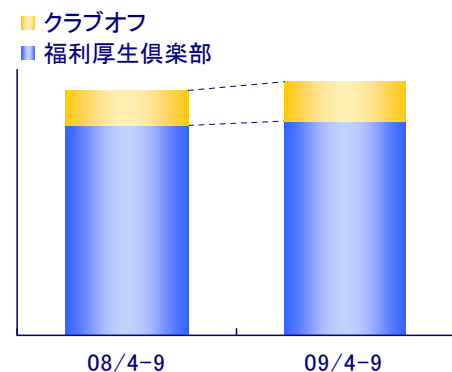
	09/9末	08/9末	増減
契約社数 (社)	7,831	6,989	+842
会員数 (万人)	267	206	+61
内 ライトプラン	152	92	+60



<分野別営業収益 内訳>

(百万円未満切捨)

	09/4-9	08/4-9	増減
営業収益	4,233	4,092	+140
福利厚生倶楽部	3,585	3,504	+81
クラブオフ	648	588	+60
営業利益	869	973	▲104



— 総括 —

- ◆ 前期は、6月にスタートした大口案件など、上期における新規会員の獲得が好調に推移。後半から期末にかけて退会・休会が生じるも、当期に入って沈静化
- ◆ 退会防止を狙い、会員企業に対する積極的なフォロー営業に加え、下期に織り込んでいた利用促進策の一部を前倒して展開
- ◆ 大型連休などの要因も加わり利用が伸張。提携施設からのキックバック収益と共に関連費用も増加
- ◆ 「クラブオフ」においては、提供先企業と利用者の拡大に伴い、会報誌などの媒体物といったキャンペーン収益が増加

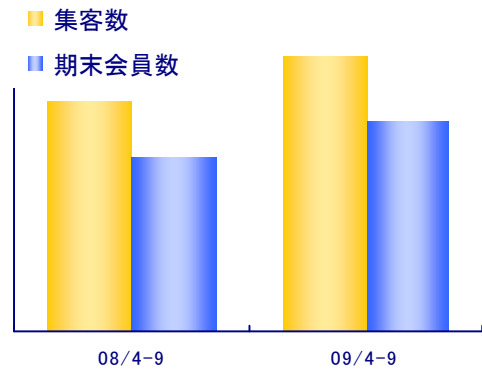
— 今後の施策 —

- ◆ 引き続き、中堅・中小規模の企業やリプレイス案件の獲得に注力すると共に、会員企業への提案と退会防止のためのフォロー営業を積極展開
- ◆ 送客実績に基づく提携施設からのキックバック収入の拡大や、利用プラン拡充によるコスト圧縮など、利用に関連する収益性を向上
- ◆ コールセンターなど、フロントオフィスにおいても、もう一段の効率化を図る

<関連指標>

(名)

	09/4-9	08/4-9	増減
集客数	5,882	4,924	+958
会員獲得数	447	424	+23
期末会員数	4,477	3,693	+784



<セグメント 実績>

(百万円未満切捨)

	09/4-9	08/4-9	増減
営業収益	1,184	1,478	▲294
営業利益	130	176	▲46

<四半期別 業績推移>

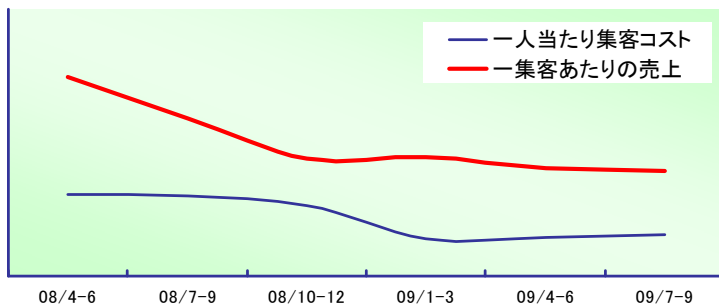
(百万円未満切捨)

	2009年3月期				2010年3月期	
	08/4-6	08/7-9	08/10-12	09/1-3	09/4-6	09/7-9
営業収益	666	812	488	525	491	693
営業利益	70	106	▲98	41	15	114

—総括—

- ◆ 個人消費は低迷下ながら、集客の効率化やセールス手法の改善等を押し進めてきた結果、第2四半期(7-9月)の営業利益は前年同四半期を上回る
- ◆ 集客手法の一つとして、大型商業施設などでの集客に引き続き注力。加えて、集客ターゲットはデータ分析を駆使して、常に反響性の高い層へのアプローチを展開
- ◆ 買い易さを打出した少ポイントパッケージを販促、将来のアップグレードへと繋げる。利用権販売収入は前年同期に届かなかったものの、新規会員の獲得数は伸張
- ◆ 会員の増加から、ストック収益となる年会費が徐々に貢献し下支えとなる

＜四半期別 指標の推移＞



— 今後の施策 —

- ◆ 第2四半期累計期間における一人当たりの集客コストは、前期の通期実績に対して約4割を削減。柱となる2つの集客手法をバランスよく用い、独自の指標に基づくコストコントロールと、反響の高い客層の確保を両立。効率的な収益化を図る
- ◆ 新たな施設として、『ポイントバケーション京都岡崎』をオープン。新規会員の獲得に弾みを付けると共に、既存会員のポイント買い増しを促進。また、関西圏における基盤構築と、初期投資を抑えた賃貸方式による開設モデルを確立し、今後の施設展開の布石とする

＜セグメント 実績＞

(百万円未満切捨)

	09/4-9	08/4-9	増減
営業収益	894	700	+193
営業利益	204	147	+56

— 総括 —

- ◆ 『リライアンス』の管理戸数増加により、引き続き『リロ補償』収益が伸張
- ◆ 保険代理店事業は、リロケーション事業セグメントの管理物件に対する借家賠償責任保険に加え、グループのリソースを活用し、その他の損害保険販売が伸張

— 今後の施策 —

- ◆ リロケーション事業における不動産管理業者のネットワークや福利厚生代行サービス事業における中堅・中小規模の顧客基盤を活用し、少額短期保険を拡販

主な取組み

日本ハウズイング社 (NH) との業務提携について

(居住者向けの展開)

- ◆ 業務提携テーマのひとつであった、NHの管理マンション居住者向けの情報誌を発刊。NHにおいては組合、居住者との関係性強化のツールとして目すると共に、当社グループが持つ居住者向けのサービス「生活総合支援サービス」の告知ツールとして位置づけ
- ◆ 転勤留守宅管理の「リロケーションサービス」においては、空家紹介制度が徐々に機能化。今期600件の紹介を見込む
- ◆ 約8,000棟におよぶマンションの大規模修繕工事の機会を逃さず、専有部に対するリフォーム提案を積極的に展開

(管理組合向けの展開)

- ◆ 管理組合を通じて約45,000世帯に提供する「安心快適生活」において、当社グループの「クラブオフ」サービスを展開。生活に関わるものに加え、レジャー施設などのメニューを拡充し、利用世帯数の増加に繋げる

ー海外赴任業務支援サービスの拡充ー

- ◆ 北米事業で蓄えたノウハウを活用し、多拠点展開の第一歩として上海に拠点を開設。当地での受入(生活基盤構築支援、生活アシスト)・帰任サービスの事業化着手
- ◆ 従来の「送り出し」業務支援サービスに加え、日本への外国人赴任者の「受け入れ」サービスをスタート

ーリゾート事業の収益多角化ー

- ◆ リゾート事業で蓄積した施設運営に関するノウハウや、福利厚生代行サービス事業における送客リソースなどを活用し、リゾート施設の運営代行業業を新たに開始

ーリロ補償の新たな展開ー

- ◆ 「リライアンス」に付帯する法人向け敷金立替サービス「リロ補償」をベースに、個人に対する原状回復費用の補償サービスを提供。入居時の初期費用を軽減すると共に、家主における家賃滞納リスクと退居時のトラブルを回避

2010年3月期 連結業績予想

(百万円未満切捨)

	10/3期 通期計画	09/3期 実績	増減	
			増減	前年比
営業収益	95,000	88,305	+6,695	+7.6%
営業利益	4,100	3,838	+262	+6.8%
経常利益	4,150	3,648	+502	+13.8%
当期純利益	2,250	1,908	+342	+17.9%
EPS	148円	128円	+20円	+15.8%
年間配当金	38円	37円	+1円	+2.7%
ROE (%)	15.7%	14.7%	—	—

* EPSは現在の発行済株式数(自己株式を除く)で算出

(百万円未満切捨)

	営業収益			営業利益		
	10/3期 計画	09/3期 実績	増減	10/3期 計画	09/3期 実績	増減
リロケーション	83,000	76,239	+6,761	2,500	2,222	+278
福利厚生代行	8,400	8,280	+120	2,100	2,064	+36
リゾート	2,100	2,492	▲392	100	119	▲19
その他	1,500	1,293	+207	370	351	+19
連結消去	—	—	—	▲970	▲919	▲51
連結	95,000	88,305	+6,695	4,100	3,838	+262

参考資料

2010年3月期 第2四半期連結BS

資産の部

	09/9期	09/3期	増減
流動資産	14,646	15,495	▲848
現金及び預金	2,597	3,225	▲628
営業未収入金	3,203	3,916	▲713
棚卸資産	543	543	-
販売用不動産	411	414	▲3
貯蔵品	132	128	+3
前渡金	5,469	5,246	+223
営業貸付金	1,578	1,472	+106
前払費用	523	348	+175
繰延税金資産	168	156	+11
その他	561	584	▲23
固定資産	17,814	17,646	+168
有形固定資産	4,224	4,333	▲108
建物	2,797	2,909	▲111
建物	3,715	3,701	+13
建物累計償却額	▲917	▲792	▲125
土地	1,037	1,029	+7
その他	389	394	▲4
無形固定資産	922	933	▲11
投資その他の資産	12,666	12,378	+287
投資有価証券	4,168	4,332	▲163
敷金及び保証金	7,147	6,835	+312
長期繰延税金資産	283	307	▲24
その他	1,066	903	+163
資産合計	32,460	33,141	▲680

負債・純資産の部

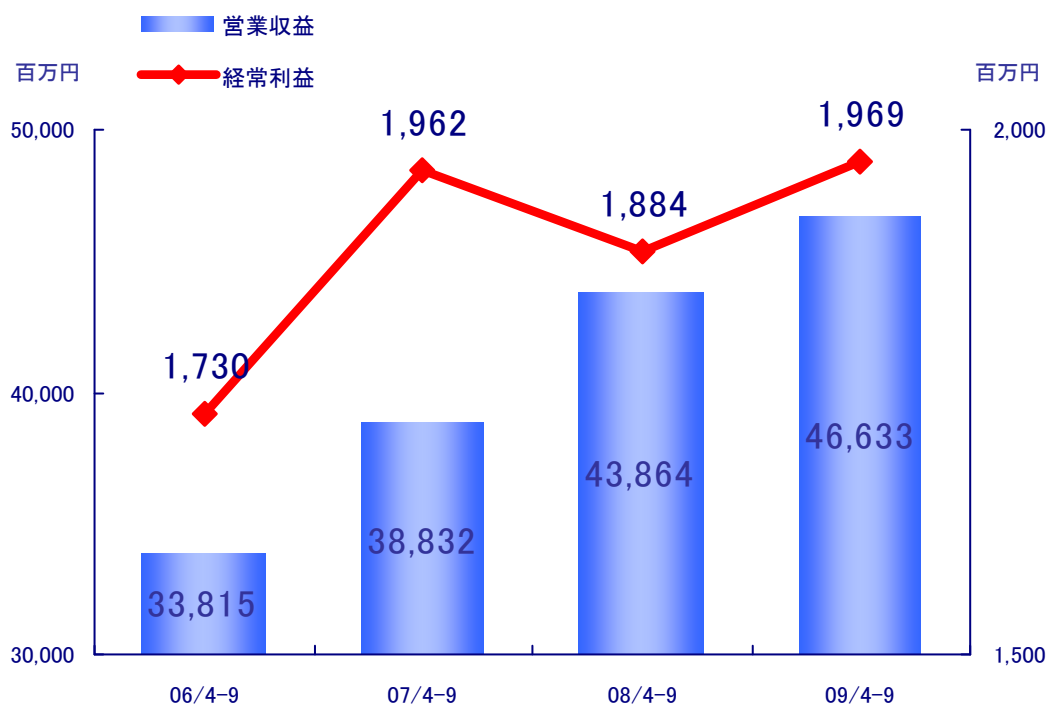
(百万円未満切捨)

	09/9期	09/3期	増減
流動負債	12,373	12,418	▲45
営業未払金	1,173	1,644	▲471
短期借入	1,497	1,282	+215
長期借入(1年以内)	487	485	+2
未払金	538	517	+21
前受金	7,093	6,838	+254
未払法人税等	759	759	-
その他	823	891	▲67
固定負債	6,638	7,152	▲513
長期借入	3,142	3,393	▲250
預り金	3,342	3,607	▲265
その他	152	150	+1
負債合計	19,011	19,571	▲559
純資産	13,449	13,570	▲120
資本金	2,561	2,561	-
資本剰余金	2,754	2,754	-
利益剰余金	9,445	8,860	+584
自己株式	▲748	▲1	▲747
新株予約権	14	4	+9
評価換算差額等	▲610	▲646	+36
再評価差額金	▲426	▲426	-
有価証券評価差額金	6	4	+2
為替換算調整勘定	▲190	▲225	+34
少数株主持分	32	36	▲4
負債純資産合計	32,460	33,141	▲680

(百万円未満切捨)

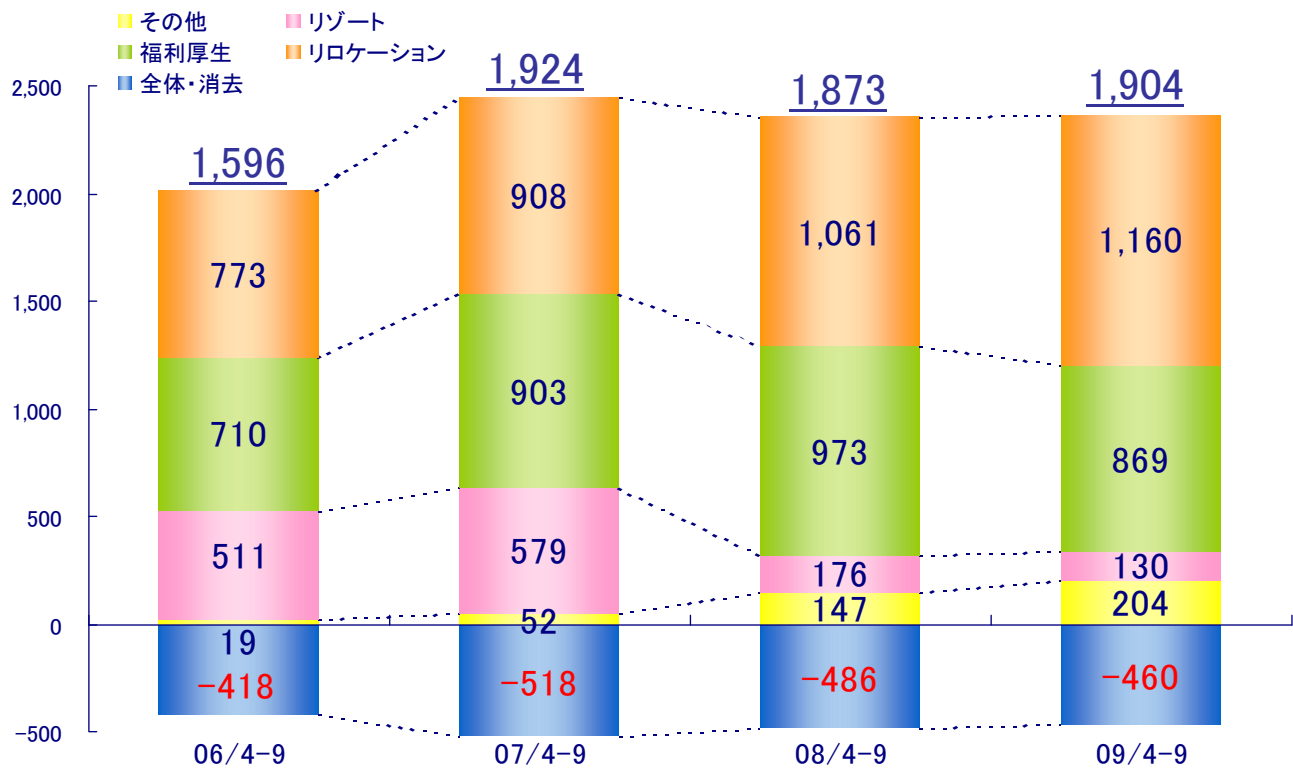
	09/4-9	08/4-9
営業キャッシュフロー	893	1,338
税金等調整前当期純利益	1,971	1,828
減価償却費	324	362
敷金及び保証金の増減額	▲ 312	▲ 717
法人税等の支払額	▲ 819	▲ 437
その他	▲ 270	303
投資キャッシュフロー	▲ 245	▲ 143
有形固定資産取得による支出	▲ 84	▲ 104
ソフトウェア取得による支出	▲ 86	▲ 69
その他	▲ 75	30
財務キャッシュフロー	▲ 1,382	▲ 1,191
短期借入金の純増減額(▲は減少)	200	▲ 791
長期借入による収入	0	600
長期借入金の返済による支出	▲ 248	0
自己株式の取得による支出	▲ 772	▲ 485
配当金の支払額	▲ 560	▲ 515
その他	0	0

連結 業績推移



百万円

* 下線数字は連結営業利益



経営企画室 企画IRグループ：北村・宇佐見

TEL: 03-5312-8704 FAX:03-3225-9714

E-Mail: ir@relo.jp

URL : <http://www.relo.jp>

本資料は、2010年3月期(第43期)第2四半期決算に関する情報提供を目的としており、当社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。

また、本資料は2009年9月末日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また今後、予告なしに変更されることがあります。